



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月9日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 福岡中央銀行

コード番号 8540 URL <http://www.fukuokachuo-bank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 古村 至朗

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長 (氏名) 井桁 善廣

TEL 092-751-4429

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	7,650	0.5	1,333	17.1	837	37.4
27年3月期第3四半期	7,614	△0.6	1,138	0.6	609	△12.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	30.91	—
27年3月期第3四半期	22.48	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	502,628	27,545	5.4
27年3月期	484,819	26,942	5.5

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 27,545百万円 27年3月期 26,942百万円

(注)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
28年3月期	—	2.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,750	△4.0	980	△34.0	600	△17.8	22.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	27,371,605 株	27年3月期	27,371,605 株
28年3月期3Q	277,211 株	27年3月期	275,584 株
28年3月期3Q	27,095,220 株	27年3月期3Q	27,097,339 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
※ 平成28年3月期 第3四半期決算説明資料.....	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の経営成績につきましては、経常収益は、役員取引等収益やその他経常収益の増加等を主因に前年同期比36百万円増加し76億50百万円となりました。

一方、経常費用は、資金調達費用や営業経費の減少等を主因に前年同期比1億59百万円減少し63億16百万円となりました。

その結果、経常利益は前年同期比1億95百万円増加の13億33百万円となり、四半期純利益につきましても、前年同期比2億28百万円増加の8億37百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(主要勘定の状況)

当第3四半期末の主要勘定残高につきましては、預金及び譲渡性預金は、前事業年度末比172億10百万円増加の4,695億5百万円となりました。貸出金につきましても、前事業年度末比81億86百万円増加の3,611億87百万円となりました。有価証券につきましては、前事業年度末比39億76百万円減少の991億97百万円となりました。

(資産、負債および純資産の状況)

資産につきましては、現金預け金や貸出金等の増加により、前事業年度末比178億9百万円増加の5,026億28百万円となりました。

負債につきましては、預金等の増加により、前事業年度末比172億5百万円増加の4,750億82百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金等の増加により、前事業年度末比6億3百万円増加の275億45百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績予想につきましては、平成27年11月12日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
現金預け金	16,653	30,292
有価証券	103,173	99,197
貸出金	353,001	361,187
外国為替	78	106
その他資産	844	771
有形固定資産	13,637	13,640
無形固定資産	130	133
前払年金費用	937	1,165
支払承諾見返	217	196
貸倒引当金	△3,852	△4,064
資産の部合計	484,819	502,628
負債の部		
預金	435,052	457,716
譲渡性預金	17,243	11,789
その他負債	2,086	1,927
役員退職慰労引当金	211	251
睡眠預金払戻損失引当金	128	139
繰延税金負債	937	1,061
再評価に係る繰延税金負債	2,000	2,000
支払承諾	217	196
負債の部合計	457,877	475,082
純資産の部		
資本金	2,500	2,500
資本剰余金	1,203	1,203
利益剰余金	14,842	15,544
自己株式	△120	△121
株主資本合計	18,425	19,127
その他有価証券評価差額金	4,312	4,213
土地再評価差額金	4,204	4,204
評価・換算差額等合計	8,516	8,418
純資産の部合計	26,942	27,545
負債及び純資産の部合計	484,819	502,628

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
経常収益	7,614	7,650
資金運用収益	6,523	6,425
(うち貸出金利息)	5,459	5,448
(うち有価証券利息配当金)	1,045	955
役務取引等収益	799	863
その他業務収益	5	2
その他経常収益	286	358
経常費用	6,475	6,316
資金調達費用	401	378
(うち預金利息)	383	352
役務取引等費用	688	691
その他業務費用	0	—
営業経費	5,102	4,774
その他経常費用	283	472
経常利益	1,138	1,333
特別利益	11	—
固定資産処分益	11	—
特別損失	146	3
固定資産処分損	4	3
減損損失	142	—
税引前四半期純利益	1,002	1,330
法人税、住民税及び事業税	261	356
法人税等調整額	131	136
法人税等合計	393	492
四半期純利益	609	837

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

平成28年3月期 第3四半期決算説明資料

(1) 損益の概況

(単位:百万円)

	平成28年3月期 の予想値	平成28年3月期		平成27年3月期
		第3四半期 (9ヵ月間)	前年同期比	第3四半期 (9ヵ月間)
経常収益	【9,750】	7,650	36	7,614
業務粗利益		6,222	△ 15	6,237
資金利益		6,047	△ 74	6,121
役務取引等利益		171	61	110
その他業務利益		2	△ 3	5
経費(除く臨時処理分)		4,906	△ 240	5,146
人件費		2,927	△ 38	2,965
物件費		1,697	△ 223	1,920
税金		281	20	261
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)		1,315	224	1,091
除く国債等債券損益【コア業務純益】	【1,520】	1,315	224	1,091
一般貸倒引当金繰入額 ①		154	220	△ 66
業務純益		1,160	3	1,157
うち国債等債券損益		—	—	—
臨時損益		172	191	△ 19
うち不良債権処理額 ②		268	△ 39	307
うち株式等損益		190	46	144
与信関係費用(① + ②)	【835】	422	182	240
経常利益	【980】	1,333	195	1,138
特別損益		△ 3	132	△ 135
税引前四半期純利益		1,330	328	1,002
法人税、住民税及び事業税		356	95	261
法人税等調整額		136	5	131
法人税等合計		492	99	393
四半期純利益	【600】	837	228	609

(注)平成28年3月期の予想値は、平成27年11月12日に公表したものであります。

(2) 金融再生法開示債権

金融再生法ベースの開示債権額は、前年同期比14億99百万円減少し、160億4百万円となりました。
また、総与信額に対する開示債権の比率は0.53ポイント低下し、4.42%となりました。

(単位:百万円、%) (参考)(単位:百万円、%)

	平成27年12月末	平成26年12月末	平成27年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,110	8,314	8,782
危険債権	5,590	7,385	5,523
要管理債権	2,303	1,803	2,368
合計(A)	16,004	17,503	16,674
正常債権(B)	345,650	335,897	338,922
総与信額(C) = (A)+(B)	361,655	353,400	355,597
不良債権比率(A)/(C)	4.42	4.95	4.68

(注) 当行は部分直接償却は実施しておりません。

(3) 時価のある有価証券の評価差額

その他有価証券の評価差額は、前年同期比14百万円減少し、62億12百万円の評価益となりました。

(単位:百万円)

(参考) (単位:百万円)

	平成27年12月末				平成26年12月末				平成27年9月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	98,204	6,212	6,399	187	102,777	6,226	6,412	186	100,183	6,080	6,256	175
株式	8,395	2,462	2,623	160	8,127	1,941	2,043	101	8,592	2,410	2,555	144
債券	82,845	3,556	3,577	21	88,630	4,233	4,233	0	84,298	3,583	3,585	1
その他	6,963	192	197	5	6,019	51	134	83	7,293	86	115	29

- (注) 1. その他有価証券の株式等については(四半)期末月1ヵ月平均の市場価格等に、それ以外については(四半)期末日の市場価格等に基づいて算出しております。
2. 子会社及び関連会社株式は、該当ありません。
3. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

(参考) (単位:百万円)

	平成27年12月末				平成26年12月末				平成27年9月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の債券	—	—	—	—	1,100	55	55	—	—	—	—	—

(4) 預金・貸出金残高

総預金残高(譲渡性預金を含む)は、前年同期比38億40百万円減少し、4,695億5百万円となりました。
貸出金残高は、前年同期比82億90百万円増加し、3,611億87百万円となりました。

① 預金(未残)

	(単位:百万円)		(参考) (単位:百万円)
	平成27年12月末	平成26年12月末	平成27年9月末
総預金	469,505	473,345	470,157
預金	457,716	457,822	454,968
うち個人預金	328,273	331,993	325,332
譲渡性預金	11,789	15,522	15,189

② 貸出金(未残)

	(単位:百万円、%)		(参考) (単位:百万円、%)
	平成27年12月末	平成26年12月末	平成27年9月末
貸出金	361,187	352,897	355,179
うち中小企業等貸出残高	328,947	320,254	323,836
中小企業等貸出比率	91.07	90.75	91.17
うち個人ローン残高	65,967	61,265	64,957
個人ローン比率	18.26	17.36	18.28

(5) 預かり資産残高

預かり資産残高は、前年同期比2億49百万円減少し、407億57百万円となりました。

	(単位:百万円)		(参考) (単位:百万円)
	平成27年12月末	平成26年12月末	平成27年9月末
預かり資産残高	40,757	41,006	40,522
投資信託	13,567	13,670	13,194
公共債	2,715	3,237	2,910
個人年金保険等	24,474	24,098	24,417

以上

本件に関するお問い合わせ先
総合企画部 橋本 TEL 092-751-4429